

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |             |
|-----------|---------------|-------------|
| 科目名 (コード) | e-コマースⅡ       | ( NGM20P )  |
| 講義名 (コード) | e-コマースⅡ       | ( NGM20PX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年 2学年    |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース | 単位数 2       |
| 授業担当者     | 金井 翼          | 時間数 30      |
| 成績評価教員    | 金井 翼          | 講義期間 秋学期    |
| 実務者教員     | いいえ           | 履修区分 必修     |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態 講義     |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 前期で学んだことを活かし、実践感覚を身に付ける。『とりあえずやってみる』のチャレンジ精神を育みます。    |
| 全体の内容と概要      | 実際にメルカリを使用したり上田市で行われるイベントに出店し本業及び副業でできるように実践感覚を身に付ける。 |
| 授業時間外の学修      | なし  |
| 履修上の注意事項等     | なし  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

#### 4. 本授業科目の授業計画

| 回  | 到達目標                    | 授業内容                                 |
|----|-------------------------|--------------------------------------|
| 1  | イベントに出店するにはを理解できるようになる。 | イベントに何を出品するか話し合う。                    |
| 2  | 出店計画を立てれるようになる。         | 前回に引き続き話し合い。                         |
| 3  | 計画に基づいて行動できるようになる。      | 出店・出品準備及び制作する。                       |
| 4  | 計画に基づいて行動できるようになる。      | 出店・出品準備及び制作する。                       |
| 5  | 計画に基づいて行動できるようになる。      | 出店・出品準備及び制作する。                       |
| 6  | 計画に基づいて行動できるようになる。      | 出店・出品準備及び制作する。                       |
| 7  | 出店の最終確認が理解できるようになる。     | 出店に向けて最終確認する。                        |
| 8  | 出店し終えての課題を見つけることができる。   | 実施に出店し終えての感想を発表する。                   |
| 9  | 復習することで再確認することができる。     | 1年次後期、2年次前期の復習として自宅に眠る不用品をメルカリで出品する。 |
| 10 | 問題点を見つけ進化させることができる。     | コピーライティングやセールスライティング、商品撮影など総復習する。    |
| 11 | 生徒一人一人がスムーズに出品できるようになる。 | 出品作業に取り掛かり、準備ができ次第出品する。              |
| 12 | 生徒一人一人がスムーズに出品できるようになる。 | 出品作業に取り掛かり、準備ができ次第出品する。              |
| 13 | 結果を検証し次につなげることができる。     | 出品した結果を発表し検証する。                      |
| 14 | 新社会人を狙う詐欺を理解できるようになる。   | 新社会人や情報弱者を狙う詐欺と対策を解説する。              |
| 15 | 開店に必要な免許や許可証がわかるようになる。  | 開店・開業するのに免許や許可証が必要だということを解説する。       |

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

|          |    |
|----------|----|
| 教科書      | なし |
| 参考文献・資料等 | なし |
| 備考       | なし |



| 1. 本授業科目の基本情報 |               |      |             |
|---------------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード)     | IT検定対策IV      |      | ( NGM20T )  |
| 講義名 (コード)     | IT検定対策IV      |      | ( NGM20TX ) |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科   | 配当学年 | 2学年         |
| 対象コース         | WEBマーケティングコース | 単位数  | 2           |
| 授業担当者         | 金井 翼、吉澤 隆一    | 時間数  | 30          |
| 成績評価教員        | 金井 翼、吉澤 隆一    | 講義期間 | 秋学期         |
| 実務者教員         | いいえ           | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄      |               | 授業形態 | 講義          |

| 2. 本授業科目の概要   |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | ITパスポート試験の出題範囲を実際の業務に近いところまで深掘して学ぶ。基本情報技術者試験の入り口に到達することを目指す。 |
| 全体の内容と概要      | ITパスポート試験の出題範囲に基づいて知識や考え方を身につける。仕事現場での知識活用を関連づける。            |
| 授業時間外の学修      | ITパスポート試験の過去問の学習、受験  |
| 履修上の注意事項等     | ITパスポート試験の受験必須   |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |                   |                               |   |
|------------------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           |                   |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれぞれに成している。      |
|                  | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                     |  |
|---------------|---------------------|--|
| 回             | 到達目標                | 授業内容   |
| 1             | 用語と概念の理解ができる        | システム開発1: 経営戦略 経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ |
| 2             | 用語と概念の理解ができる        | トピックス1: 基礎理論                                   |
| 3             | 用語と概念の理解ができる        | システム開発2: システム戦略 システム戦略、システム企画                  |
| 4             | 用語と概念の理解ができる        | トピックス2: コンピューターシステム                            |
| 5             | 用語と概念の理解ができる        | システム開発3: システム構築 システム開発技術                       |
| 6             | 用語と概念の理解ができる        | トピックス3: 技術要素                                   |
| 7             | 用語と概念の理解ができる        | システム開発4: システム構築 システム開発技術                       |
| 8             | 用語と概念の理解ができる        | トピックス4: 企業と法務                                  |
| 9             | 用語と概念の理解ができる        | システム開発5: システム構築 システム開発技術                       |
| 10            | IT活用の具体事例を理解し、説明できる | トピックス5: システム開発事例研究1                            |
| 11            | 用語と概念の理解ができる        | システム開発6: システム構築                                |
| 12            | IT活用の具体事例を理解し、説明できる | トピックス6: システム開発事例研究2                            |
| 13            | 用語と概念の理解ができる        | システム開発7: システム構築                                |
| 14            | IT活用の具体事例を理解し、説明できる | トピックス7: システム開発事例研究3                            |
| 15            | IT活用の全体像を説明できる      | まとめ  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |    |
|-----------------------|----|
| 教科書                   | なし |
| 参考文献・資料等              | なし |
| 備考                    | なし |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |      |             |
|-----------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード) | UX/UIデザインⅡ    |      | ( NGM20J )  |
| 講義名 (コード) | UX/UIデザインⅡ    |      | ( NGM20JX ) |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年 | 2学年         |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース | 単位数  | 1           |
| 授業担当者     | 水野泰雄・長谷川 胖    | 時間数  | 30          |
| 成績評価教員    | 水野泰雄・長谷川 胖    | 講義期間 | 秋学期         |
| 実務者教員     | いいえ           | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態 | 講義          |

### 2. 本授業科目の概要

|               |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | UIやUXの使いやすい理由とセールスマーケティングの関係を再構築し、実物・実験・体験・現実・過去を体験する事で自分が社会でマーケットターとして活躍出来るスキルを身につける |
| 全体的内容と概要      | 基礎の基のおさらいとマーケットターと言う職業の実態を再構築し、撮影などの実践を通して重要視されている優れたUI・UXのインターフェース設計を実践する            |
| 授業時間外の学修      | マーケティングを意識して世の中を見て、疑問を持ちそれらの課題を探し自身での課題解決を考えてみる                                       |
| 履修上の注意事項等     |   |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                         |  |
|--------|-------------------|-------------------------|--|
| 評価前提条件 |                   |                         |  |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%     | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                   |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ) | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                 |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                    | 評価内容                                       |
|        | S                 | 90~100点                 | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                 |
|        | A                 | 80~89点                  | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                    |
|        | B                 | 70~79点                  | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。 |
|        | C                 | 60~69点                  | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。              |

|  |   |       |   |
|--|---|-------|---|
|  | D | 59点以下 | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
|  | F | 評価不能  | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。                   |

#### 4. 本授業科目の授業計画

| 回  | 到達目標                                   | 授業内容  |
|----|--|---|
| 1  | 情報って何だ？情報の意味と捉え方の勉強で情報の取り扱い方を学ぶ        | SNS上での気になるもの 言われて気が付く 言われなければ気が付かなかった UIやUXが重要視される理由 それぞれのデバイスの差が大きく、デバイスごとの見やすいUIを意識する場面 |
| 2  | 情報の分類について考えて分類してみる 溢れる情報の中から必要な情報選出を学ぶ | 意識して観ると情報の種類の多さに気が付くUI・UXとはユーザーが考えずに操作できるもので、サービスや商品の利用率へ影響                               |
| 3  | 視覚から入る多い情報を考える事でWebマーケティングを勉強する        | 人に情報がどう伝わるのかを考える 目から入る情報の多さとその分類 考えずに操作させるのがUI・UXの理想                                      |
| 4  | 聴覚から入る多い情報を考える事でWebマーケティングを勉強する        | 人に情報がどう伝わるのかを考える音楽から情景が見えるか？音から恐怖を感じるか？   |
| 5  | 体感・雰囲気・気配・ほか感覚から入る情報を人がどう処理するかを考える力を持つ | 人に情報がどう伝わるのかを考え、商品撮影・製品撮影の違いを实践   |
| 6  | 解りやすさ・使いやすさ・ユーザー目線の大事さの勉強              | 「おしゃれなデザインにしたい」と作ったものが、ユーザーにとって使いにくいもの  |
| 7  | 写真を見る力・撮影する力を学ぶ                        | 視覚から入る情報の理解力そこからの発想力を自ら実践で覚える   |
| 8  | 動画何の気になしに見せられている情報のあり方に付いて考え方を学ぶ       | ユーザーが一度に目にする情報の量が多過ぎないことWebページの閲覧では「Fの法則」UI   |
| 9  | 印刷物・ポスター・フライス・WEB・TV                   | メディアミックス 優れたUI・UXとは 見にくい、わかりにくい PC・スマートフォンやタブレット ターゲットの絞り込み                               |
| 10 | アイデアの裏付けとユーザーが優れたUI・UXだと感じるの？を学ぶ       | 新しいものを考える・実行する・失敗する・成功するもの  |
| 11 | 企業が業務効率アップためにシステムを導入する際は、UI・UXが最重要課題学ぶ | 難題の解決・人との協力 温故知新を知るとは   |
| 12 | 今までの授業の総決算<br>考え・決定・実行・制作Etc.          | 個々が<br>質問あり・実践・プラン・写真・動画・ポスター・チラシ・立体物・イベント なんでもあり？  |
| 13 | 今までの授業の総決算<br>考え・決定・実行・制作Etc.          | 個々が<br>実践あり・質問あり・なんでもあり？  |
| 14 | 今までの授業の総決算<br>考え・決定・実行・制作Etc.          | 個々が<br>実践あり・質問あり・なんでもあり？  |
| 15 | まとめと解説                                 | 生徒全員がUI・UXを通じて社会の課題解決について発表し考える   |

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

|     |  |
|-----|--|
| 教科書 |  |
|-----|--|

|          |  |
|----------|--|
| 参考文献・資料等 |  |
| 備考       |  |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |             |     |
|-----------|---------------|-------------|-----|
| 科目名 (コード) | WebデザインⅣ      | ( NGM20B )  |     |
| 講義名 (コード) | WebデザインⅣ      | ( NGM20BX ) |     |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年        | 2学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース | 単位数         | 1   |
| 授業担当者     | 水野 泰雄・水野 翔    | 時間数         | 30  |
| 成績評価教員    | デザインルームエム     | 講義期間        | 秋学期 |
| 実務者教員     | はい            | 履修区分        | 必修  |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態        | 講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | Wordpressを使ってホームページ作成のデザイン・制作・webサーバー管理などを任せられ人になる |
| 全体の内容と概要      | 自分自身の将来の希望先の企業などのwebサイトを仮に作成して自信をつける               |
| 授業時間外の学修      | 1年次に作成したMywebページを随時更新管理                            |
| 履修上の注意事項等     |  |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

#### 4. 本授業科目の授業計画

| 回  | 到達目標            | 授業内容                                  |
|----|-----------------|---------------------------------------|
| 1  | Wordpressを再確認   | 前期のWordpressの基礎のおさらいと疑問点の解消           |
| 2  | webサイトの管理者になる 1 | webサイトやサーバーなどの通常運営管理を学ぶ               |
| 3  | webサイトの管理者になる 2 | 前提知識として、レンタルサーバー・独自ドメイン・などの覚える        |
| 4  | 独自サイトを作成・運用 1   | 自身の就職先や好きな企業・NBLのサイトを分析し、リニューアル案を企画する |
| 5  | 独自サイトを作成・運用 2   | サイトを分析後、リニューアル案をデザインする                |
| 6  | 独自サイトを作成・運用 3   | リニューアルデザインをコーディングしてweb制作              |
| 7  | 独自サイトを作成・運用 4   | リニューアルデザインをコーディングしてweb制作              |
| 8  | 独自サイトを作成・運用 5   | web Tipsの解説とweb制作上の質問・疑問点解消           |
| 9  | 独自サイトを作成・運用 6   | リニューアルデザインサイト中間発表とバージョンアップ批評会         |
| 10 | 独自サイトを作成・運用 7   | リニューアルデザインをコーディングしてweb制作              |
| 11 | 独自サイトを作成・運用 8   | リニューアルデザインをコーディングしてweb制作              |
| 12 | 独自サイトを作成・運用 9   | リニューアルサイトプレゼンテーションと批評会                |
| 13 | 独自サイトを作成・運用 10  | リニューアルサイトプレゼンテーションと批評会                |
| 14 | まとめと解説          | インターネットの未来を考える                        |
| 15 | まとめと解説          | みんなでディスカッションと贈る言葉                     |

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

|          |  |
|----------|--|
| 教科書      |  |
| 参考文献・資料等 |  |
| 備考       |  |

| 1. 本授業科目の基本情報 |               |      |             |
|---------------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード)     | Webマーケティング実践Ⅱ |      | ( NGM20D )  |
| 講義名 (コード)     | Webマーケティング実践Ⅱ |      | ( NGM20DX ) |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科   | 配当学年 | 2学年         |
| 対象コース         | WEBマーケティングコース | 単位数  | 1           |
| 授業担当者         | ryui、金井       | 時間数  | 30          |
| 成績評価教員        | デザインルームエム     | 講義期間 | 秋学期         |
| 実務者教員         | いいえ           | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄      |               | 授業形態 | 講義          |

| 2. 本授業科目の概要   |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | 社会的組織におけるマーケティングを実践する。企画から実行、評価までの一連の流れを理解できる。 |
| 全体の内容と概要      | 社会や生活の課題からマーケティング施策を立案、実行する。                   |
| 授業時間外の学修      | オンラインの活動                                       |
| 履修上の注意事項等     | 社会人として活動する                                     |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |                   |                               |   |
|------------------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           | 授業出席率75% 以上       |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数           | 出席率× 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                    |                     |
|---------------|--------------------|---------------------|
| 回             | 到達目標               | 授業内容                |
| 1             | 課題を考えることができる       | 課題探索 社会、生活          |
| 2             | 解決策を立案できる          | 解決策を探る 仮説構築1        |
| 3             | 解決策を立案できる          | 解決策を探る 仮説構築2        |
| 4             | ヒアリングができる          | 生活者の課題 ターゲットへのヒアリング |
| 5             | マーケティング活動の計画策定ができる | マーケティング活動の計画        |
| 6             | マーケティング活動が実行できる    | マーケティング活動の実行 作業     |
| 7             | マーケティング活動が実行できる    | マーケティング活動の実行 作業     |
| 8             | 活動の評価、計画の修正ができる    | 中間評価、計画修正           |
| 9             | マーケティング活動が実行できる    | マーケティング活動の実行 作業     |
| 10            | マーケティング活動が実行できる    | マーケティング活動の実行 作業     |
| 11            | 活動の評価、計画の修正ができる    | 中間評価、計画修正           |
| 12            | マーケティング活動が実行できる    | マーケティング活動の実行 作業     |
| 13            | マーケティング活動が実行できる    | マーケティング活動の実行 作業     |
| 14            | 活動をまとめた資料作成ができる    | 活動評価、まとめ            |
| 15            | 活動内容をプレゼンすることができる  | 活動結果プレゼン            |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   |  |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    |  |

| 1. 本授業科目の基本情報 |               |      |             |
|---------------|---------------|------|-------------|
| 科目名 (コード)     | Web広告         |      | ( NGM20M )  |
| 講義名 (コード)     | Web広告         |      | ( NGM20MX ) |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科   | 配当学年 | 2学年         |
| 対象コース         | WEBマーケティングコース | 単位数  | 2           |
| 授業担当者         | 吉田 達矢         | 時間数  | 30          |
| 成績評価教員        | 吉田 達矢         | 講義期間 | 秋学期         |
| 実務者教員         | いいえ           | 履修区分 | 必修          |
| 実務者教員特記欄      |               | 授業形態 | 講義          |

| 2. 本授業科目の概要   |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | WEBやSNSをつかったオンライン広告のしくみを理解して広告出稿ができるようになる |
| 全体の内容と概要      | WEB広告の種類とそのしくみの理解と効果検証                    |
| 授業時間外の学修      | 日常的に見るSNSの広告で気になったものを記録する                 |
| 履修上の注意事項等     | なし  |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |                   |                               |   |
|------------------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           |                   |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                             |  |
|---------------|-----------------------------|--|
| 回             | 到達目標                        | 授業内容   |
| 1             | WEB広告とはなにかを理解する             | WEB広告の種類と実例の紹介<br>SEOと広告の関係と互いのメリットデメリットの説明  |
| 2             | 広告の目的と目標と対象を理解する            | WEBマーケティングを活かして広告は考える<br>広告と宣伝を混同しない、広告と宣伝では役割がちがう<br>目的、目標、対象についての説明  |
| 3             | コンテンツ広告について理解する             | コンテンツ広告 (ペイドパブ) とはなにか?<br>コンテンツ広告の実例をみる  |
| 4             | 広告戦略とはなにかを理解する              | 広告は点で考えないで、つながり (線) と効果 (面) を考慮して作戦をたてる<br>広報と広告を併用してはじめて十分な効果が得られる  |
| 5             | 広告戦略の作り方を理解する<br>※以後グループワーク | マーケティング視点の振り返る<br>マーケティングトライアル広告について (広告をつかって市場調査する)<br>具体的な商品例を例に考えて、誰に (対象者)、なにを (目的)、どうつたえるか (目標) を時系列で考える。 |
| 6             | 広告戦略を作れるようになる               | グループで前回考えた広告戦略を各グループごとに発表<br>互いに評価しあう  |
| 7             | 中間まとめ                       | 前半の振り返りと後半でやることの説明   |
| 8             | 広告のLPを理解する                  | WEB広告はあくまで見出しとして考え、その受け先としてのLPが必要<br>LPの作り方のセオリーについて   |
| 9             | 広告クリエイティブを理解する              | 戦略にあった広告クリエイティブの作りかた<br>クリエイティブの種類をつくる必要性  |
| 10            | WEB広告を実際に作成できる              | Instagramで広告を出稿する前提で具体的な広告をつくる<br>以前建てた戦略にのってクリエイティブを作成 (LPもつくる)   |
| 11            | Instagramに広告出稿できるようになる      | Metaの広告ツールをつかってInstagramに広告出稿をする<br>インサイトの見方の説明  |
| 12            | 広告効果の検証を理解する                | 前回授業で出稿した広告の効果検証をおこなう (LPの効果検証も含む)<br>次回広告にむけての改善ポイントの検討   |
| 13            | 広告を改善して再出稿できる               | グループで広告の再出稿にむけての改善点の発表と共有<br>広告の再出稿で変更するところと確認して、再出稿   |
| 14            | 広告効果の最終検証ができる               | 再出稿を含めた広告効果の検証レポートの書き方について<br>各チームでレポートをまとめて発表   |
| 15            | 最終まとめ                       | 授業の振り返りと試験について   |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |                             |
|-----------------------|-----------------------------|
| 教科書                   | なし                          |
| 参考文献・資料等              | 講師の担当した広告レポートの共有            |
| 備考                    | LPの設定先やInstagramの広告アカウントの設定 |

| 1. 本授業科目の基本情報 |                             |             |     |
|---------------|-----------------------------|-------------|-----|
| 科目名 (コード)     | キャリアデザインⅣ                   | ( NKT23I )  |     |
| 講義名 (コード)     | キャリアデザインⅣA                  | ( NKT23IA ) |     |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科                 | 配当学年        | 2学年 |
| 対象コース         | グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース | 単位数         | 2   |
| 授業担当者         | 高木 良幸                       | 時間数         | 30  |
| 成績評価教員        | 高木 良幸                       | 講義期間        | 秋学期 |
| 実務者教員         | はい                          | 履修区分        | 必修  |
| 実務者教員特記欄      | キャリアコンサルタント・公共職業安定所勤務経験     | 授業形態        | 講義  |

| 2. 本授業科目の概要   |   |
|---------------|---|
| 授業の目的<br>到達目標 | 自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成 |
| 全体の内容と概要      | 講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。                 |
| 授業時間外の学修      | インターンシップ、合同企業説明会 & 面接会参加 (WEB含む)  |
| 履修上の注意事項等     | 主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。  |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |                   |                               |   |
|------------------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           |                   |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                              |  |
|---------------|------------------------------|--|
| 回             | 到達目標                         | 授業内容   |
| 1             | 授業内容の理解                      | 【オリエンテーション】講師紹介後期の内容について説明、心構え<br>【演習】進路調査 Cam-J 進路希望、希望職種、ガイダンス予約   |
| 2             | インターンシップの振り返りができる            | 【インターンシップ】インターンシップについての復習<br>【演習】インターンシップの反省キャリア面談、応募先企業シート作成        |
| 3             | 就職活動スケジュールが理解できる             | 【就職情報説明】就職活動スケジュール、必要書類、スキル、準備物<br>【演習】キャリア面談 応募先企業シート作成             |
| 4             | 就職活動の計画が作成できる<br>(1)         | 【行動計画立案】応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション<br>【演習】キャリア面談 就職活動行動計画表作成           |
| 5             | 就職活動の計画が作成できる<br>(2)         | 【行動計画立案】応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション<br>【演習】キャリア面談 就職活動行動計画表作成           |
| 6             | 就職活動の計画が作成できる<br>(3)         | 【行動計画立案】応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション<br>【演習】キャリア面談 就職活動行動計画表作成           |
| 7             | 在留資格制度、申請について理解できる(1)        | 【在留資格】就職在留資格制度、特定活動について説明、必要書類説明<br>【演習】在留資格変更申請書記入、準備物確認            |
| 8             | 在留資格制度、申請について理解できる(2)        | 【在留資格】就職在留資格制度、特定活動について説明、必要書類説明<br>【演習】在留資格変更申請書記入、準備物確認            |
| 9             | 就職内定先企業への提出書類について理解できる(1)    | 【内定書類】就職内定後の提出書類、提出方法、準備物など<br>【演習】内定書類記入 誓約書、内定受諾書、個人情報書類の署名捺印      |
| 10            | 就職内定先企業への提出書類について理解できる(2)    | 【内定書類】就職内定後の提出書類、提出方法、準備物など<br>【演習】内定書類記入 誓約書、内定受諾書、個人情報書類の署名捺印      |
| 11            | 入社前研修、オリエンテーションについて理解できる。(1) | 【研修】研修の目的、研修内容、研修への関わり方<br>【演習】仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談         |
| 12            | 入社前研修、オリエンテーションについて理解できる。(2) | 【入社前研修】入社時書類、労働条件(給料、時間、休日、勤務地)<br>【演習】仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談 |
| 13            | 日本企業の仕事について理解できる。(1)         | 【日本の企業】1日、1か月、1年間の仕事の流れ<br>【演習】仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談         |
| 14            | まとめと対策                       | 【テスト】記述式<br>【テスト】回収  |
| 15            | まとめと対策                       | 【テスト返却】フィードバックと解説<br>【振り返り】講義の振り返り、まとめ                               |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |  |
|-----------------------|--|
| 教科書                   | 留学生：『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク）<br>日本人：就職内定基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター） |
| 参考文献・資料等              |  |
| 備考                    | 担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリキュラム運営を行う                          |

| 1. 本授業科目の基本情報 |                 |             |     |
|---------------|-----------------|-------------|-----|
| 科目名 (コード)     | グーグルアナリティクス概論 1 | ( NGM20L )  |     |
| 講義名 (コード)     | グーグルアナリティクス概論 1 | ( NGM20LX ) |     |
| 対象学科          | グローバルビジネス学科     | 配当学年        | 2学年 |
| 対象コース         | WEBマーケティングコース   | 単位数         | 2   |
| 授業担当者         | 吉田 達矢           | 時間数         | 30  |
| 成績評価教員        | 吉田 達矢           | 講義期間        | 秋学期 |
| 実務者教員         | いいえ             | 履修区分        | 必修  |
| 実務者教員特記欄      |                 | 授業形態        | 講義  |

| 2. 本授業科目の概要   |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 授業の目的<br>到達目標 | 前期に学修した基礎を用いてGoogleアナリティクスの実践を行う |
| 全体の内容と概要      | 概論だが教科書をつかって実際の操作を体験する           |
| 授業時間外の学修      | なし                               |
| 履修上の注意事項等     | なし                               |

| 3. 本授業科目の評価方法・基準 |                   |                               |   |
|------------------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件           |                   |                               |   |
| 評価基準             | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法             | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準           | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|                  | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|                  | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|                  | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|                  | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|                  | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F                | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

| 4. 本授業科目の授業計画 |                              |   |
|---------------|------------------------------|---|
| 回             | 到達目標                         | 授業内容  |
| 1             | 前期の振り返り                      | 前期授業の振り返りと見直し、後期の進め方の説明   |
| 2             | NBLのアクセスログにログインできるようになる      | GoogleアカウントでNBLのアクセスログを閲覧できるようになる   |
| 3             | アナリティクスのデータの意味を理解する          | アクセスログのサマリーの見え方と、そのサマリイの意味を説明   |
| 4             | アナリティクスのデータの意味を理解して説明できる     | 自分なりのデータを取得する「データ探索」機能について学ぶ  |
| 5             | アナリティクスの設定を理解する              | アクセスログを取得するためのタグの埋め込み方法<br>取得できているかの確認  |
| 6             | searchconsoleの役割を説明できる       | search consoleの役割の復習 (SEOの授業の抜粋)<br>アナリティクスと連携することの大事さ                          |
| 7             | Sitemap.xmlについて              | Googleが効率よく検索するためのsitemap.xmlについて<br>どうやって作成するか                                 |
| 8             | ここまでの振り返り                    | 後半やることを踏まえて、もう一度おさらい  |
| 9             | アナリティクスの運用方法を説明できる           | WEBサービスやECサイトなどにおける、アナリティクスの運用方法<br>「現状分析・C→運用計画・P→改善の実施; A→結果」の調査検証のCPAサイクルを学ぶ |
| 10            | アナリティクスを読み取って状況の説明ができる       | CPAサイクルの最初のC<br>チームに分かれて、NBLのサイトの分析レポートを作る                                      |
| 11            | アナリティクスのデータからWEBサイトの改善策を提案する | CPAサイクルの次のP<br>チームごとに分析レポートをベースに改善策を考える   |
| 12            | 改善策のプレゼンをつくる                 | CPAサイクルの最後のA<br>チームごとに現状分析→目指すべきゴールのプレゼンを実施                                     |
| 13            | 広告の必要性を理解する                  | アナリティクスによる分析とコンテンツなどの改善策だけでは、できないことについて<br>広告を出すことの目的と価値について                    |
| 14            | 検索広告を理解する                    | 検索広告をシミュレーションしてみる   |
| 15            | 後期振り返り                       | 後期の振り返りと試験について  |

| 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等 |   |
|-----------------------|---|
| 教科書                   | なし  |
| 参考文献・資料等              | 講師が管理するWEBサイトのアナリティクスデータ<br>いちばんやさしいGoogleアナリティクス4の教本 (インプレス) |
| 備考                    | NBLのWEBサイトのアナリティクスデータへのアクセス権が必要                               |

### 1. 本授業科目の基本情報

|           |               |           |     |
|-----------|---------------|-----------|-----|
| 科目名 (コード) | グラフィックデザイン応用Ⅱ | (NGM20H)  |     |
| 講義名 (コード) | グラフィックデザイン応用Ⅱ | (NGM20HX) |     |
| 対象学科      | グローバルビジネス学科   | 配当学年      | 2学年 |
| 対象コース     | WEBマーケティングコース | 単位数       | 1   |
| 授業担当者     | 水野 泰雄・水野 翔    | 時間数       | 30  |
| 成績評価教員    | デザインルームエム     | 講義期間      | 秋学期 |
| 実務者教員     |               | 履修区分      | 必修  |
| 実務者教員特記欄  |               | 授業形態      | 講義  |

### 2. 本授業科目の概要

|               |  |
|---------------|--|
| 授業の目的<br>到達目標 | マルチデバイス時代のインターフェース設計・デザインを覚えてAdobe Illustrator・Photoshopを実践出来る人へ |
| 全体の内容と概要      | 使いやすい・分かりやすい・伝わるデザインを目的に様々なデザインやツールを学ぶ                           |
| 授業時間外の学修      |  |
| 履修上の注意事項等     | Adobe Illustrator・Photoshopなどの認定試験(予定)                           |

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

|        |                   |                               |   |
|--------|-------------------|-------------------------------|---|
| 評価前提条件 |                   |                               |   |
| 評価基準   | 知識 (期末試験点)<br>60% | 自己管理能力 (出席点)<br>30%           | 協調性・主体性・表現力 (平常点)<br>10%                        |
| 評価方法   | 期末試験の点数           | 出席率X 0.3<br>(小数点以下切り上げ)       | 授業中の活動評価点<br>(5点を基準に加点・減点)                      |
| 成績評価基準 | 評価                | 評価基準                          | 評価内容  |
|        | S                 | 90~100点                       | 特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。                      |
|        | A                 | 80~89点                        | 優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。                         |
|        | B                 | 70~79点                        | 妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。      |
|        | C                 | 60~69点                        | 合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。                   |
|        | D                 | 59点以下                         | 合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。 |
| F      | 評価不能              | 試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。 |   |

#### 4. 本授業科目の授業計画

| 回  | 到達目標                 | 授業内容  |
|----|----------------------|---|
| 1  | 広告・デザインの仕組みを覚える      | 広告・デザインを作成するための考える力をつける心理効果を学ぶ                    |
| 2  | 心理効果を実践例で覚える 1       | webサイト・LP・ポスター・名刺などの使用例を使って学ぶ                     |
| 3  | 心理効果を実践例で覚える 2       | Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践                  |
| 4  | 心理効果を実践例で覚える 3       | 注意喚起：やってはいけない心理学を悪用したデザイン                         |
| 5  | デザインに使える心理効果を覚える 1   | ハロー効果からトンネル効果・文脈効果などを順次説明                         |
| 6  | デザインに使える心理効果を覚える 2   | Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践                  |
| 7  | 錯視効果のでデザイン効果を覚える 1   | ムンカー錯視からクレーター錯視効果などを順次説明                          |
| 8  | 錯視効果のでデザイン効果を覚える 2   | Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践                  |
| 9  | 五感に左右する色彩効果を覚える 1    | 暖色に寒色・色が臭覚まで左右することを順次説明                           |
| 10 | 五感に左右する色彩効果を覚える 2    | Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践                  |
| 11 | 情報を認識するレイアウト効果を覚える 1 | F・Zの法則や近接法則など脳がどの様に認識するかを順次説明                     |
| 12 | 情報を認識するレイアウト効果を覚える 2 | Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践                  |
| 13 | 最強のデザイン構図を覚える        | 世界で最も美しい構図「黄金比」を覚えて使える様にする                        |
| 14 | まとめと解説               | Adobe Illustrator・Photoshopなどの認定試験について(1になる可能性あり) |
| 15 | まとめと解説               | みんなでディスカッションと贈る言葉                                 |

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

|          |  |
|----------|--|
| 教科書      |  |
| 参考文献・資料等 |  |
| 備考       | Adobe Illustrator・Photoshopなどの認定試験(予定) |